

1-2-(12) 受領不能(休眠担保権の登記を抹消するための供託(担保権者である法人の所在不明))

第四号様式(第13条第1項関係) その他の金銭供託の供託書

供託書・OCR用

(雑)

<input type="checkbox"/> 字加入	<input type="checkbox"/> 字削除	係員印	受付	調査	記録	頁
------------------------------	------------------------------	-----	----	----	----	---

(第4号様式 印供第34号)

申請年月日	令和2年7月1日	供託カード番号
供託所の表示	〇〇法務局	() カードご利用の方は記入してください。

供託者の住所氏名	住所	甲県乙市丙町一丁目1番1号
	氏名・法人名等	甲 山 太 郎
	代表者等又は代理人住所氏名	

別添のとおり
ふたりめからは別紙継続用紙に記載してください。

被供託者の住所氏名	住所	(最後の所在地) 甲県乙市丙町二丁目2番2号
	氏名・法人名等	乙 野 商 事 株 式 会 社

別添のとおり
ふたりめからは別紙継続用紙に記載してください。

供託通知書の発送を請求する。

供託金額	百 十 億 千 百 十 万 千 百 十 円	印
	¥ 4 9 6 5 1	年 月 日

供託カード発行

法令条項	民法第494条
供託の原因たる事実	<p>供託者は、昭和29年6月1日に、被供託者から金1万円を弁済期昭和34年7月1日、利息年6分の約定で借り受け、この担保のため、同日下午記抵当権を設定し、〇〇法務局昭和29年6月1日受付第150号をもって設定登記をした。</p> <p>供託者は、この債務について、令和2年7月1日に元金1万円及びこれに対する昭和29年6月1日から昭和34年7月1日までの利息金3,050.8円並びに昭和34年7月2日から令和2年7月1日までの遅延損害金36,600円(合計金49,651円)を債務履行地である被供託者所在地において弁済しようとしたが、被供託者はその場所所に所在せず、また、現在の所在につき調査をしたが、これを確認することができなかったため、受領することができないので、供託する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>抵当権者：被供託者 抵当権設定者兼債務者：供託者 抵当権の目的物 甲県乙市丙町一丁目1番 宅地 100平方メートル 登記記録上の順位1番 債権額 10,000円 利息年6分 損害金 定めなし</p>

<input checked="" type="checkbox"/> 供託により消滅すべき質権又は抵当権	供託の原因たる事実中に記載した抵当権
<input type="checkbox"/> 反対給付の内容	

備考	通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律第3条による。
----	----------------------------

↓ 濁点、半濁点は1マスを使用してください。

供託者ナ名	コ ウ ヤ マ タ ロ ウ
氏名	

(注) 1. 供託金額の冒頭に¥記号を記入してください。なお、供託金額の訂正はできません。
2. 本供託書は折り曲げないでください。